



## ★机に向かうクセをつけよう!



中学生で勉強が楽しくて仕方がないという人はあまりいないと思いますが、  
また、勉強が嫌いで嫌いで仕方がないという生徒も、数はそう多くないと思います。

大体の生徒が教科によって好きだったり、そうでなかったりというのが普通ではないでしょうか。

さて、勉強にとって大切なものの1つに「続ける」ということがあります。続ける。つまり、継続は力なりというやつです。勉強は必ずしも机の上だけではないというのは当たり前のことです。

しかし、基礎的な人生の土台となる中高生時代の学習は、いかに机の上での時間をより多くしかも継続的に確保するかにかかっていると思います。

最近引退を発表したイチロー選手が次のような言葉を述べています。「自分のできることをとことんやってきたという意識があるかないか。それを実践してきた自分がいること、継続できたこと、そこに誇りを持つべき」だと、また日本人初アメリカの検視局長として世界的に有名なトーマス野口さんは「人は能力において差はない。一日もすべて等しく24時間。いかにより多くの時間を勉強時間として確保できるかで勝負」としています。



??????じゃあどうすれば??????



勉強の習慣のついていない生徒がいきなり机で1時間も2時間も勉強を続けるのは難しいと思います。それは、やらないクセが身についてしまっているからです。なので、まずは、1日5分でも机に座ってみる。少し、本やノートをめくって眺めるだけでも良いのではないのでしょうか。それを1週間ほど続ける。次の週は10分にのばしてみる。というように引き延ばしていきます。徐々に伸ばして2~3時間は当たり前になってしまうと、保護者のほうから勉強のし過ぎでは?と心配されるようになるかもしれません。究極のようですが、クセにしてしまうことが勝ちになると思います。机がない人、食卓を机と利用している家もあるかもしれません。自分の勉強(机)の場所を決め、その場所にいるクセをつけましょう。以前こんな生徒がいました。家では家族やスペースの問題もあり、勉強できないというのです。家族に協力を求められる状況ではないと家での勉強をあきらめ、部活動の前などに教室で勉強を毎日続けていました。そして、みごと志望校に合格することができました。このことは勉強は自分に合った場所・時間をいかに見つけるかの大切さも示しています。自分自身はどうですか?「場所」はありますか?「時間」はありますか?「やる気」はありますか?

「継続する」=「努力」

⇒「自分の目指す将来像に近づく」

